

「緊急事態宣言等」等の発出に伴う

「皇后杯 JFA 第 4 3 回全日本女子サッカー選手権大会東海大会」の中止について

平素は本会事業の推進にご協力をいただき、感謝申し上げます。

標記の件につきまして、8 月 22 日各県委員長会議で協議した結果、大会は「中止」とし、全国大会へのチーム選出は、シード上位 4 チームとすることといたしました。選出チーム、協議内容は下記のとおりです。

本年度、皇后杯東海大会がおかれた状況と今回の協議結果について、ご理解・ご承諾をいただきたくお願い申し上げます。

記

1. 皇后杯東海大会 全国大会への地域代表チーム

JFA アカデミー福島、静岡 SSU アスレジーナ、藤枝順心高校、ヴィアティン三重

2. 東海各県女子委員長会議の協議内容

緊急事態宣言等が 4 県で発出され、東海協会では 9 月 12 日までの延期・中止措置を打ち出しました。その後の感染状況は好転せず、三重国体も中止の決定がなされました。そのような状況下、あわせて日程的には、9 月 18 日以降 10 月末まで各カテゴリーのリーグ戦が再開し、その他の全国大会の予選、全国大会の開催も並行して実施計画される中において、皇后杯東海大会 1・2 回戦を行い、4 チームの代表を選出することが物理的に不可能であり、コロナ禍での会場確保、公平な試合日程を組むことが困難であるとの結論から、残念ながら、中止とせざるを得ないと判断いたしました。

皇后杯全国大会の選出は、種々の側面から検討し、東海大会のシード上位 4 チームとすることといたしました。

皇后杯の醍醐味は、各県予選、各地域予選から勝ち上がり、本大会への出場を決めることにあり、その趣旨から乖離する「中止」の判断であり、本大会を目指し練習を重ねてきたにもかかわらず、全国大会出場選出から漏れたチームの皆様、またサッカーファミリーのみなさまに大変申し訳なく思います。

最後に、コロナ禍が、一日も早く収束し、サッカー活動の日常が戻ることを祈ります。

以上